

痛烈な冗談を交えた大胆なアジェンダ：トランプ-プーチン

G20 会談

【訳者注】今度の G20 大阪サミットは、この記事の「トランプは記者団を煙に巻いて・・・」のビデオ（クリックして見てください）に尽きると思われる。これほど世界に対する痛烈な皮肉はないだろう。この写真、特にプーチンの苦笑と、他の 3 人の微笑を見れば、彼らにとって「ロシア介入疑惑」が、すでに笑いのタネであることがわかる。ポンペオにとっても、そんなことはわかりきったウソなのであろう（イラン攻撃のためのウソが当たり前であるように）。記者団の中から、突然、トランプに対し、来年選挙への不介入の要求を、プーチンにするように要望したのは、ヤラセと考えられる。トランプは、このようなドキリとする冗談をよくやる。ジョージ・ソロスに面と向かって、「あなたは地獄に墮ちるがよろしい」と言ったエピソードもそうだ。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180131.pdf>

もし来年の、ロシアの第 2 次大戦戦勝記念式典への招待に、トランプが応じて出席するとしたら、NATO 側からの出席としては、初めてのことと思われる。（中国は出席している。）もしそれが実現すれば、その意味はきわめて大きいのではなからうか？

RT (Russia Today)

June 28, 2019



ロシア大統領プーチンと米大統領トランプが、大阪 G20 サミットでの協働ミーティングで面談した

ドナルド・トランプとウラジミール・プーチンは、G20 大阪サミットの番外会合で話し合

い、予定の時間を十分に過ぎた。彼らのミーティングの深刻な内容にもかかわらず、2人の首脳はたびたび、朗らかな軽口を叩きあった。

「話すことはいっぱいある」

この2人の大統領が、金曜日の密室会談を始めるに先立って、メディアに対して短い言葉を話したとき、米大統領はロシア大統領よりも、かなり饒舌だった。

トランプは、これは貿易、軍縮、それに「少しばかり保護主義」が、第一の討論の内容だ。そして続けて、「いろんなポジティブなことが、私のプーチン氏とのきわめて良い関係から、生まれてくるだろう」と予言した。「我々はたくさんの（本題とは）違う事柄を議論するつもりだ」と、彼はつけ加えた。

「トランプは記者団を煙に巻いて (troll)、プーチンに対し、アメリカの選挙には介入しないように“命令”した」(ビデオ)

<https://www.rt.com/usa/462886-trump-joke-russia-meddling/>

プーチン大統領としては、確かに「議論すべきことはある」と言ったが、その話題は特定しなかった。事前には1時間だけの予定だったが、彼らの会談は20分も超過した。

ジョーカーの主演

完全に崩壊した米露関係にもかかわらず、トランプはそのムードを明るくすべく努力をしていた。プーチンと共に着席する前、これら世界の指導者たちが集合写真のために集まったとき、トランプは、ロシア大統領の背中を、ポンポン叩いている様子が写っている。

この2人が記者団の前に現れたとき、トランプは、この部屋の熱気過剰の写真班について冗談を言った——「これはアカデミー賞受賞会場のようだなあ、馬鹿ばかしい」と、プーチンにおどけてみせた。(注：彼は実際には、It's like the Academy Awards. Stupid と行った。これは Academy Awards Studio にかけたものであろう。)

しかしトランプは、もっと面白い仕掛けを用意していた。彼がロシア大統領との会談を始めようとしていたとき、ある記者が叫んだ——「大統領閣下、どうかロシアに、2020 選挙のときは、介入しないように言うただけませんか？」

「これはアカデミー受賞のようだな：トランプはプーチンとの会談で写真班をからかう」

<https://www.rt.com/news/462898-trump-putin-academy-awards/>

「よしきた、やるとも」と、トランプは応えた。それから彼は、プーチンの方に向き直って言った――「どうぞ選挙に介入しないようお願いします。どうか選挙に介入しないようお願いです。」プーチンは苦笑するばかりだった。

これは進歩か？

ワシントンとクレムリンがこの会談の結果に対し、口を閉ざしている間も、トランプとプーチンは、どんどん先へ進んでいるように見える――少なくとも個人的レベルでは。

クレムリンによれば、プーチンが、トランプを来年の第2次大戦戦勝75周年記念式典に招待したとき、彼は「積極的に反応してきた」と言っている。

――以上